

法学教室 2022年度 内容一覧  
2022年4月号(No.499)～2023年3月号(No.510)

巻頭言	執筆者	掲載号	頁
技術革新と民事手続法	松下淳一	499	1
履行に代わる損害賠償と解除権の発生の要否	森田宏樹	500	1
曖昧さの功罪	川出敏裕	501	1
「ロス市警のコロンポっています」「でも、ここじゃ権限ないだろ」	斎藤 誠	502	1
フランス人権宣言第16条	小島慎司	503	1
<b>法学のアントレ(61)～</b>			
「大学図書館」に行こう	原田和往	499	2
大学図書館を巡る楽しみ	海道俊明	500	2
緑の丘の星ひかる図書館	所 浩代	501	2
図書館の楽しみ方	井畑陽平	502	2
法学部生と図書館	藤巻 梓	503	2
<b>法学を旅する(1)～</b>			
総論(地域と法学)	丸橋昌太郎	500	5
建築協定	長谷川義仁	501	4
地域独自の地方税(法定外税)の活用	青木 丈	502	4
「地域の中で社会復帰する」ということ	大貝 葵	503	4
<b>特集</b>			
[4月号(499号)]			
<b>特集・これからの社会で法・法学はどのような役割を果たせるのか</b>			
I 社会のあり方・価値観の変容のなかでの憲法	曾我部真裕	499	6
II 社会の変容とこれからの民法・消費者法	大澤 彩	499	13
III 刑法学が社会のあり方の変容に対応するとき	深町晋也	499	20
IV 「法の使われ方」の変容をめぐって	谷口太規	499	27
[5月号(500号)]			
<b>特集・これからの社会で法・法学はどのような役割を果たせるのか</b>			
V パネルディスカッション・質疑応答	曾我部真裕・大澤 彩・ 深町晋也・谷口太規	500	12
[6月号(501号)]			
<b>特集1 憲法の学習を身近に感じる</b>			
I 婚姻と憲法—同性婚・別姓婚・非婚の共同親権を素材に	木村草太	501	10
II 移動の自由と社交の自由	岡田順太	501	15
III 表現の自由と差別	桧垣伸次	501	20
IV 障害者をめぐる人権問題—教育の場から	尾形 健	501	25
V 議院内閣制をめぐる憲法問題	只野雅人	501	30
VI 地方自治と外国人	近藤 敦	501	35
<b>特集2 法学学習強化計画—憲法・民法・刑法を中心に</b>			
座談会	松本哲治・下村信江・豊田兼彦	501	41
[7月号(502号)]			
<b>特集 日常のトピックから民法を学ぶ</b>			
I インターネット時代における名誉・名誉感情侵害	村田健介	502	10
II 高齢者の建物賃貸借	角田光隆	502	16
III 「同性婚」に付与されるべき法的効果とは何か —札幌地裁令和3・3・17判決を契機として	大島梨沙	502	22
IV デジタルコンテンツの供給契約	馬場圭太	502	29
V デジタルプラットフォーム上の取引と民事責任	大澤逸平	502	35

[8月号(503号)]

**特集1 身近なトピックから学ぶ刑法**

I 交通事故と刑事法	岡部雅人	503	10
II 児童虐待と刑事法	平山幹子	503	15
III SNSと刑事法——侮辱罪を中心に	亀井源太郎	503	20
IV 業務妨害と刑事法	原口伸夫	503	26
V 新しい決済サービスの不正使用に関連する犯罪	鎮目征樹	503	31
VI 会社財産の不正利用	上嶋一高	503	37

**特集2 ニュースからはじめる社会保障法**

1 バイトと社会保障——大学生は守られているか？	柴田洋二郎	503	45
2 老後2000万円問題——年金ってどうなるの？	島村暁代	503	48
3 ヤングケアラー問題——家族が倒れたときに！	永野仁美	503	52
4 児童虐待——子どもたちを守るためには！	橋爪幸代	503	55
5 生活に困窮したときの支援——ネットカフェ難民の行き場は？	黒田有志弥	503	59

**国会概観**

**時の問題**

敵対的買収防衛策をめぐる近時の裁判例の動向(上)	久保田安彦	500	27
敵対的買収防衛策をめぐる近時の裁判例の動向(下)	久保田安彦	501	56
「オンライン議会」	植松健一	502	41
著作権を侵害しないSNS投稿の基本と主要な事例解説	関 真也	502	47

**判例クローズアップ**

コインハイブ事件(最高裁令和4年1月20日判決)	今井猛嘉	500	33
--------------------------	------	-----	----

**新法解説**

講座				
憲法事例分析の技法(1)～				
公立学校での宗教的装飾物と信教の自由	柴田憲司	499	36	
国家による宗教に対する援助と国家による宗教的活動 ——政教分離原則違反の判断枠組み	坂田隆介	500	40	
「不起立教員」と思想・良心の自由	堀口悟郎	501	65	
プラカード掲示の差止め	御幸聖樹	502	56	
公園での祭りの不許可と集会の自由	柴田憲司	503	62	
行政法教室——トピックで学ぶ(13)～				
行政救済法の体系, 行政不服審査・行政審判・苦情処理	大橋真由美	499	61	
行政訴訟概説	大橋真由美	500	49	
処分性	正木宏長	501	73	
原告適格	渡井理佳子	502	64	
狭義の訴えの利益	渡井理佳子	503	71	
日本家族法を考える(12)～				
離婚の効果を考える	水野紀子	500	58	
財産分与と婚約・内縁を考える		501	81	
子の出生を考える		502	72	
実親子関係を考える		503	79	
商法総則・商行為法の現代化に向けて(1)～				
形式的意義の商法と商法の適用範囲	得津 晶	499	45	
商人・事業者・消費者 ——概念の相互関係	西内康人	500	64	
商業登記の現代的機能	船津浩司	501	88	
商法12条の現代化に向けた一試論	青木大也・清水真希子	502	78	
営業譲渡における競業禁止義務	津野田一馬	503	85	
流れをつかむ民事訴訟法(1)～				
民事訴訟手続の流れと基本原則	笠井正俊	499	54	
訴えの提起と訴訟物		500	70	
裁判所と当事者		501	95	
訴状等の送達・第1回口頭弁論期日		502	85	
訴訟要件総論		503	92	
刑法総論の基礎にあるもの(13)～				
被害者の同意	安田拓人	499	70	
責任能力		500	77	
原因において自由な行為		501	102	
実行行為途中からの責任能力低下		502	92	
実行の着手		503	99	
演習				
憲法	江原勝行			毎号
行政法	鶴澤 剛			
民法	池田雅則			
商法	久保大作			
民事訴訟法	林 昭一			
刑法	井上宜裕			
刑事訴訟法	中島 宏			

## 判例セレクト Monthly

## 判例の動き

## 憲法

性別の取扱い変更に関する制約の合憲性(最決令和3・11・30)	武田芳樹	499	99
無罪判決確定者のDNA型データ等の保管の許容性 (名古屋地判令和4・1・18)	毛利 透	500	101
旧優生保護法の合憲性と除斥期間の適用の制限(大阪高判令和4・2・22)	巻 美矢紀	501	125
道警ヤジ排除事件第一審判決(札幌地判令和4・3・25)	櫻井智章	502	115
あん摩マッサージ指圧師養成施設非認定事件上告審判決(最判令和4・2・7)	武田芳樹	503	125

## 行政法

使途基準に反する政務活動費の不当利得返還請求事件 (最判令和3・12・21)	米田雅宏	499	100
放置違反金納付命令の対象となる「車両の使用者」の意義 (広島高岡山支判令和3・7・15)	中原茂樹	500	102
大阪市ヘイトスピーチ条例最高裁合憲判決(最判令和4・2・15)	飯島淳子	501	126
特別地方交付税の額の決定取消請求事件(大阪地判令和4・3・10)	徳本広孝	502	116
土地建物の財産の評価通達による画一的な評価が 実質的な租税負担の公平に反するというべき事情(最判令和4・4・19)	米田雅宏	503	126

## 民法

交通事故による車両損傷を理由とする損害賠償請求権の消滅時効の 起算点は身体傷害とは各別に判断されるとした事例 (最判令和3・11・2)	栗田昌裕	499	101
性別の取扱いの変更の申立てと「現に未成年の子がいないこと」要件 ——民法からの考察 (最決令和3・11・30)	羽生香織	499	102
不法行為に基づく損害賠償債務の遅延損害金と民法405条 の適用又は類推適用の可否(最判令和4・1・18)	田中 洋	500	103
離婚慰謝料が履行遅滞に陥る時(最判令和4・1・28)	村田大樹	501	127

## 商法

事前委任状送付株主による誤解に基づく総会当日の棄権の 議決権行使(大阪高決令和3・12・7)	得津 晶	499	103
会社法106条の通知を欠く売渡株式の共有者による 売買価格決定の申立て(長野地決令和3・10・8)	田澤元章	500	104
議決権行使書面の行使期限に関する法令違反の瑕疵と裁量棄却 (東京高判令和3・12・16)	潘 阿憲	501	128
善管注意義務違反を認識しつつなされた取締役の行為とD&O保険 (東京高判令和2・12・17)	伊藤雄司	502	117
人身傷害保険における「人傷一括払」と自賠償保険金の取扱い (最判令和4・3・24)	潘 阿憲	502	118

## 民訴法

再生計画案に賛成する旨の条項を含む和解と決議の不正 (最決令和3・12・22)	高田賢治	500	105
賃料減額確認訴訟における既判力の範囲(東京高判令和3・11・4)	越山和広	502	119

<b>刑法</b>				
勾留中に薬物譲渡の相手から差し入れられた現金の薬物犯罪収益性 (名古屋地判令和3・8・5)	和田俊憲	499	104	
包括的共謀による共同正犯(福岡地小倉支判令和3・11・5)	十河太朗	500	106	
いわゆるキャッシュカードすり替え型の窃盗罪につき実行の着手があるとされた事例 (最判令和4・2・14)	高橋直哉	501	129	
車内で死亡した者の死体を乗せて自動車を走行させた行為と死体遺棄罪の成否 (福岡高判令和3・6・25)	杉本一敏	502	120	
農地上の許可未取得である買主の委託に基づく登記による農地の占有と横領罪における委託関係(最判令和4・4・18)	和田俊憲	503	127	
<b>刑訴法</b>				
業務上占有者の身分を有しない者が、その身分を有する共犯者の横領行為に共同正犯として加功した場合の公訴時効期間 (東京高判令和3・5・21)	佐藤由梨	499	105	
逮捕すべき人を捜索するためにホテル客室に立ち入った行為が違法とされた事例(札幌地判令和3・11・4)	丸橋昌太郎	500	107	
裁判員裁判における刺激証拠の取扱い(大阪高判令和3・4・19)	黒澤 睦	501	130	
被疑者が出したごみの回収行為について令状によらない違法な捜索・差押えに当たるとされた事例(東京高判令和3・3・23)	田中優企	502	121	
<b>海外Topics</b>				
<b>REPORT</b>				
早慶合同ゼミナール ブル太を取り返せ！——使用借主による盗品の回復請求	藤澤治奈・白石 大・田高寛貴	500	110	
<b>その他の記事</b>				
「#生きづらさを生きていく。」をさらに一歩先へ。——第72回“社会を明るくする 法務省保護局		502	123	
<b>法律書ランキング</b>				
全国大学生協／丸善ジュンク堂書店(2022年1月～3月)		500	123	
全国大学生協／紀伊國屋書店(2022年4月～6月)		503	135	
<b>Book Information</b>				
法学部で学ぼうプロジェクト編『「法学部」が面白いほどよくわかる——高校生が進路を考え始めたら』		499	33	
幡野弘樹=齋藤哲志=大島梨沙=金子敬明=石綿はる美『フランス夫婦財産法』		499	34	
法と心理学会監修、綿村英一郎=藤田政博=板山昂=赤嶺亜紀編『入門司法・犯罪心理学』		499	80	
山下友信『保険法(下)』		499	81	
山本和彦編著『子の引渡手続の理論と実務』		500	109	
小柿徳武=伊藤吉洋=原弘明=島田志帆『基礎から学ぶ商法』		501	62	
横大道聡=吉田俊弘『憲法のリテラシー——問いから始める15のレッスン』		501	64	
嶋矢貴之=小池信太郎=品田智史=遠藤聡太『徹底チェック刑法——基本をおさえる事例演習』		502	54	
泉水文雄『独占禁止法』		502	55	
東京大学法学部「現代と法」委員会編『まだ、法学を知らない君へ——未来をひらく13講』		503	43	
新井誠=上田健介=大河内美紀=山田哲史編『世界の憲法・日本の憲法——比較憲法入門』		503	109	
<b>READER'S VOICE</b>				毎号
<b>別冊付録</b>				